



公益財団法人 日本生態系協会

鹿児島県出水市における ツルとの持続的な共生に 向けた社会環境づくり

一般助成

1年目

知識の提供・
普及啓発

勉強会の参加者数 42人

アンケートを
実施した来訪者数

264人

活動の全体目標に
対する達成度

85%

課題

- ツル類の飛来が一部市民に負担となっている状況や地域資源として活用されていない状況
- ツル類の出水への一極集中という懸案事項について一般の関心・理解が低い状況

活動内容

ツルを地域の資源として捉え活用していくため地域内・外に向けた啓発活動として以下の二つの取組みを実施した。

① 市民向けに外部講師を招聘しての地域資源を活かした観光活性についての勉強会を開催、② ①を受け、地域でできる取組み例として、ツル渡来地を巡るガイドツアーバスを試験的に運行、③ ②の利用者等を対象に、ツルを取り巻く現状を伝えつつ地域での取組みについての意見を収集するアンケート調査を実施



イベント運営時は住民が
ボランティアで参加

今後の課題

1年目はデモンストレーション的にイベントを実施したが、将来的に継続する地域での取組みとするため、地域の住民や団体、行政機関等が主体性を持って次年度以降の取組みに関わっていく体制を築く必要がある。

成果と工夫した ポイント



成果

① の勉強会への参加者のうち13名が② のイベント運営にもボランティアとして参加し、継続的に事業に関わっていく意志が見られる機関や個人・団体とのネットワークが形成できた。

工夫

ツルガイド博士検定合格者にボランティア協力してもらったところ保護者・参加者から非常に好評であった。